



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第1号 令和4年6月8日

文責 久保山 紀陽子

■ 「地域とともにある学校」を目指して



6月3日（金）に第1回目の学校運営協議会を行いました。学校運営協議会は、地域・保護者代表が6名、教育委員会から1名、学校から4名の11名で構成されています。

今回は1回目ということで、まずは、学校運営協議会とは何なのかという話をしました。地域との連携・協働により、対話と信頼に基づく学校運営を実現するために学校運営協議会があります。学校運営協議会委員が当事者意識を持ち、子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するために熟議を重ねていきます。その後、共有した目標に向かって学校と地域が協働して活動していくこととなります。

学校運営協議会の主な役割としては、下記のようなものがあります。

学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

話し合いの中では、若基小学校の学校運営協議会として何ができるのかということについても意見が出されました。

- ・今、行われている見守り隊は、学校運営協議会の支援活動の1つとして、とてもよい活動ではないか。
- ・子供たちの見守りとして、地域で取り組んでいるポイント付きウォーキングを下校時刻に行ってはどうか。
- ・地域で行われている花いっぱい活動を広げて、子供たちと一緒に取り組んではどうか。
- ・若基小学校の特徴である少人数のよさや少人数だから困ることなどを把握することが大切。
- ・「若基小学校では～ができるようになる」という学校の特徴があれば、子供たちの自信につながるのではないか。
- ・将来の夢を持てる子供、夢を語れる子供になってほしい。
- ・ふるさとに誇りを持つ子供になってほしい。



子供たちが「学校って楽しいな」、「学校での毎日は充実しているな」、「学校で過ごしていると笑顔になるな」などと感じることができるよう、『元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う子供』という学校教育目標のもとに学校と地域が共に歩んでいきたいと考えております。保護者および地域の皆様は、「学校の応援団」である学校運営協議会について、ご理解とご協力をお願いします